

発展途上国の政治と社会
 PRESENTATION
中東の権威主義的共和制国家




中東諸国の分類—経済面

- 1人当りGDPの非常に高い産油国と低中所得国・低開発地域に大別できる。
- UAE(20,530ドル) エジプト(4,071ドル)
- サウジ(12,520ドル) ヨルダン(3,940ドル)
- (参考: 日本 24,150ドル)

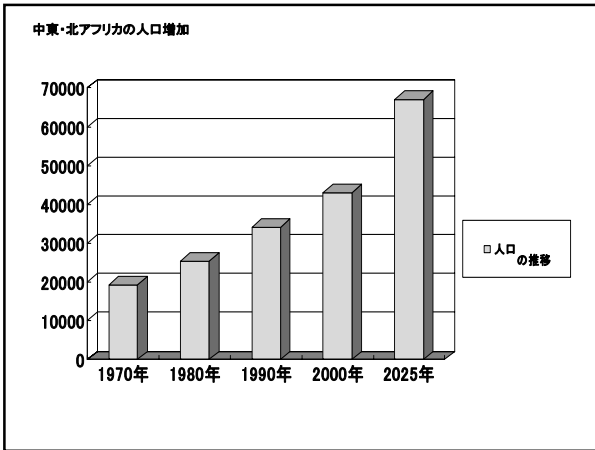
- 1970年代から低中所得国から産油国に労働力を供給する経済構造ができあがっていた。

中東諸国の分類—政治体制

- (1)クーデターによる共和制国家
エジプト、イラク、イエメン、リビア、シリア
- (2)オスマン帝国解体に伴う共和制国家:トルコ
- (3)植民地的共和制国家:イスラエル
- (4)王制・君主制国家
ヨルダン、サウジアラビア、アラブ首長国連邦、クウェート、カタール、オマーン
- (5)イスラーム革命による共和制国家
イラン、スーダン、アフガニスタン(タリバン)

中東の社会問題(1)人口

- 30年で倍以上に増加した
1億9,226万人(70年)から、4億3,114万人(00年)
- 原因—乳幼児死亡率の低下と高齢化
(医療の浸透による改善)
- 若齢化の進行:人口の50%以上が25歳未満(先進国では人口の30%前後)
- 都市化とスラム:都市に人口が流入し、スラムが作られる。犯罪の増加。



中東の社会問題(2)雇用

- 10~20%の失業率。大卒でも無職。
- 湾岸産油国での人口増加
⇒非産油国の出稼ぎ労働者を吸収できず
- エジプトやシリアなど、革命による国家では、社会主義計画経済を採用し、公共部門を拡大させて若者を雇用した。

中東の社会問題(2)雇用<続き>

- 市場原理を重視した経済構造への転換を迫られる
- 国営企業や中央・地方の政府組織は財政再建、合理化へ
- しかし、公務員の数は増大し、国営企業の民営化などは先送り
- エジプトでは労働人口の35%程度が依然として政府部門に雇用

中東の社会問題(3)食料

- 農業国でも人口増加のため食料が自給できず
- 貧困層対策のため、基礎食料品に補助金を出している
- しかし、国家財政の悪化で、常に補助金削減の圧力がある
- 一方で、補助金を実際に削減すると暴動が発生する
- 補助金制度の存在は、それ自体で政府部門の肥大を生み出している

権威主義型政治体制

- 制限された多元主義
- 指導的イデオロギーの欠如
- 政治動員の欠如
- 少数の指導者が政治を支配



権威主義型支配の特徴(1)

- 政治参加の欠如
- 非常事態宣言などの超法規的措置により、国民の自由な政治参加を認めない
- 大統領選挙は信任投票のみ(ただし2005年度エジプト大統領選は複数の候補者がいた)



権威主義型支配の特徴(2)

- 市民的自由の欠如
- 言論・報道の自由、結社の自由がない
- マスメディアは政府が規制する
- 政府批判は罪に問われる



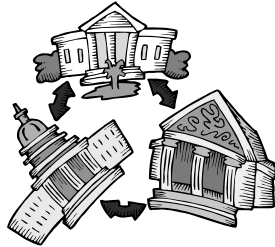
権威主義型支配の特徴(3)

- 政党組織が弱い
 - 政府が権威主義的性格を偽装する目的で政党の存在を認めているので、政府に対する挑戦は見られない
- 大統領が所属する与党以外の政党が弱い、存在しない



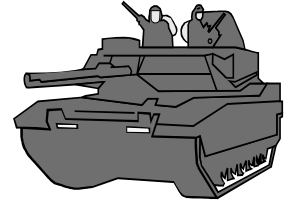
権威主義型支配の特徴(4)

- 行政機構の権限が著しく強い
- 立法機関の権限が弱い(議員であることが利権になっている)
- 政策決定において大統領に権限が集中している

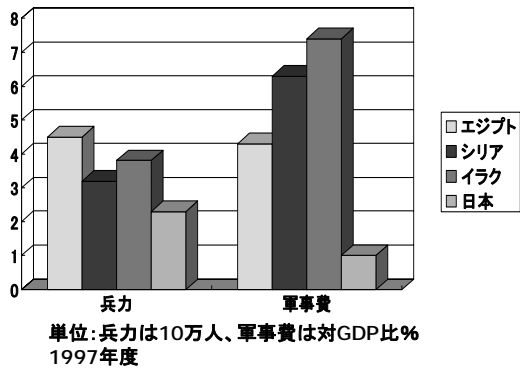


権威主義型支配の特徴(5)

- 軍事力と軍事費の突出(軍にとっての利権でもある)
- イスラエルとの対決のため、他の開発途上国と比較して軍事力と軍事費が突出して大きい



中東権威主義共和制の軍事力



どうして権威主義共和制は生き残っているのか

- エジプト: ムバラク大統領は5選を果たした。
- <世襲共和制>
- シリア: ハーフエズ・アサドが亡くなった後、息子のバシヤールが大統領職を継いだ。
- イラク: 戦争がなかったら、サダム・フセインの後継者には二人の息子のどちらかがなる可能性が高かった。



権威主義体制が生き残っている理由

- 体制を支える政党や軍からの支持を継続的に得られるように、パトロネージを行使している。
- 反体制派の「戦略的調整」を阻止する政策が成功している。
- 準「レンティア国家」としての財源確保



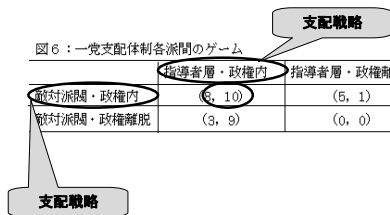
一党支配体制は寿命が長い

図5: 軍部各派閥のゲーム

	少数派・介入	少数派・兵舎
多数派・介入	(4, 6)	(0, -10)
多数派・兵舎	(3, -20)	(6, 4)

図6: 一党支配体制各派閥のゲーム

	指導者層・政権内	指導者層・政権離脱
敵対派閥・政権内	(6, 10)	(6, 1)
敵対派閥・政権離脱	(3, 9)	(0, 0)



戦略的調整とは？

- 特定の状況において政治権力を手にするために必要な一連の活動、つまり広報活動を展開し、意を同じくするメンバーを集めて集団を立ち上げ、指導者を選び、組織を強化して政策への影響力を増大させる戦略のこと。
- これを阻止できれば権威主義体制が崩壊するリスクを低くできる

民主化運動の芽を摘み取る

- マスメディア、インターネットなどの監視
- 民主化運動や反体制運動の指導者を逮捕して見せしめにする
- 団体・結社を届出(ライセンス)制にして監視する



準「レンティア国家」

- レントとは、極端に低いコストで大きな利益を得ることのできる財・サービスのこと。具体的には原油などが当てはまる
- 「レンティア国家」とは原油などのレントに財政を依存している国家のこと
- エジプトはスエズ運河の収入と産油国への出稼ぎ送金に財政を依存している
- シリアは原油パイプラインからの収入と自国の原油生産に財政を依存している

文献紹介

- 浜中新吾(2006)「中東諸国における権威主義体制の頑健性」『山形大学紀要』第37巻1号
- 政治体制の下位類型に民主化への抵抗力の違いがあることを簡単なゲーム理論で明らかにし、大量観察型計量分析で実証したもの